

幻の古典バリ舞踊

『ジョゲ・ピンギタン』

仙台公演

Gamelan Gandrung



2011年10月1日(土)

開場 14:30 開演 14:45 [終演予定16:00]

仙台市福祉プラザ
ふれあいホール

仙台市青葉区五橋2丁目12-2
地下鉄「五橋駅」南1番出口より徒歩3分

チケット: 一般前売2,000円(当日2,500円)
高校生以下 500円

※保護者同伴の未就学児は無料

イガイド: 仙台三越、ヤマハミュージック東北仙台店、cafe anbien

Ni Wayan Sukarini [舞踊]

ニ・ワヤン・セカリアニ (セカール)

1964年、バリ、パトゥアン村の舞踊家一族に生まれる。叔父は世界的に有名な仮面舞踊家マデ・ジマツト、祖母は人間国宝級の踊り手イブ・チュニック。4歳の頃から舞踊を始め、15歳で叔父より古典舞踊劇ガンブーの伝承を許され、以後バリでも数少ないガンブーの踊り手として活躍。また、後継者断絶の危機にあったジョゲ・ピンギタンを継承者であった祖母より直接手ほどきをうけ、2010年祖母チュニック他界の後はいよいよ後継者として後進の育成にもあたっている。舞踊教師としても内外を問わず生徒は多数。1996年以降毎年ナロバ大学(米・コロラド州)現地客員教授として、バリで生徒を受け入れている。

Sri Maharyeni [舞踊]

スリ・マハリィエニ (スリ)

1990年生まれ。セカールを母に舞踊家一家に生まれる。幼少のころよりセカール、叔父マンブツド、大叔父マデ・ジマツト、曾祖母クトゥット・チュニックなど、バリを代表する舞踊家達を見て育ち、母より踊りの手ほどきを受ける。若手を代表する舞踊家としてお家芸の古典舞踊劇ガンブーの継承、また近年では曾祖母チュニックよりジョゲ・ピンギタンの継承を受ける。パトゥアン村の数々の古典舞踊の次世代の継承者として周囲の期待を一身に背負っている。

小谷野哲郎 [舞踊]

ウロツテノヤ子 [ガムラン演奏]

インドネシア国立大学留学後、プロのバリ舞踊家として活動を開始。特に仮面の専門家として、バリ古典仮面舞踊劇のみならず、コンテンポラリーなど他ジャンルとの共演も多数。ガムラン楽団「ウロツテノヤ子」を率いて音楽、舞踊、影絵の公演を日本中で重ねる他、日本とインドネシアの芸術文化交流にも尽力。近年ではその活動の場をアメリカや他のアジア諸国にも広げ、国際的にプロジェクトを展開している。

幻の古典舞踊？ ジョゲ・ピンギタンとは

バリ島の宮廷で伝えられてきたジョゲ・ピンギタン。神聖な舞踊として寺院での奉納として舞われることも多い。近年では後継者不足のためその存続が危ぶまれていたが、偉大な舞踊家でジョゲ・ピンギタンの継承者であったクトゥット・チュニック女史がその芸を孫と曾孫達に伝え、2010年他界の後には孫のセカールを中心にその伝統を受け継いでいる。今回はそのセカールと、セカールの娘でありチュニック女史から直接芸を受け継いだ最後の世代の代表でもあるスリが来日、ジョゲ・ピンギタンを披露する。東北地方では史上初のジョゲ・ピンギタン公演。

演目

ジョゲ・ピンギタン
トペン(仮面舞踊)
古典楽曲 他

みんなのこころを被災孤児の支援に

※本公演の売上金の一部を「SENDAI青い鳥PROJECT」に寄付し
震災孤児のために役立てて頂きます



主催:バリ舞踊KUPU KUPU 連絡先:ジョゲ・ピンギタン仙台公演事務局/電話090-2955-9352

協賛: Garuda Indonesia ガルーダインドネシア航空

協力:HISバリ支店